

第4期鳥取市中心市街地活性化基本計画(案)にいただいた意見と対応方針

No.	区分	いただいた意見・質問等	対応方針
1	鳥取駅周辺地区	<p>かつて、鳥取駅周辺地区は、物づくりの街だったが、大量生産・大量消費の時代に対応できなくなり、空洞化が進んでしまった。ついては、次のような工夫が必要と考えます。</p> <p>①一定規模の面積を確保（日本たばこ産業、第一給食センター敷地、シャミネ2階、トスク空きスペース）したうえで、住宅地と共存できる事業所の誘致（ソフト開発オフィスなど）</p> <p>②若者が集まりやすい魅力ある施設整備（付近の住民にも歓迎されるもの：スケートボード場ではなく、ミニシアター、美術館など）</p> <p>③地域住民へのアピール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各地域で公民館単位の活性化計画が作成されており、それに基づいて納涼祭、運動会、文化祭が開催されているが、若年層へのアピールがやや弱い。</li> <li>各地区または事業の取組み事例の発表会を開催し成果をアピールできるミニ学会のような場を設ける。（現状は、各団体内での総括、日本海新聞への掲載、自治連合会での共通認識程度）</li> <li>個別事業では、シャンシャン祭り、成人式、はしご酒ラーなど多くの成果を上げているものも多数見受けられる。</li> </ul>	<p>第4期計画では、鳥取駅周辺地区を「山陰東部圏域の中心市の核として駅を中心にさまざまな機能が集積する舞台」と位置付けるとともに、「まちのエントランスゾーン」「鳥取民藝観光推進ゾーン」「まちみせ魅力創出ゾーン」「まちなか暮らし推進ゾーン」「まち歩き推進ゾーン」の5つのゾーンを設定し、各種施策に取組むこととしています。</p> <p>様々な顔を持つ駅周辺ですが、ご意見頂いた事業所の誘致については、IT系などの事務系企業の鳥取市内へのオフィス移転・新設する「オフィス移転・新設支援事業」に継続して取り組みます。また、市として具体的な施設整備を行うものではありませんが、駅が来街者のエントランスであることも踏まえ、若年層にも魅力ある場所として改善していきたいと考えます。</p> <p>さらに、本市は平成22年度より住民が主体となって設置した地域運営組織（まちづくり協議会）が、地域課題の解決や住みやすい地域の実現に向けて取り組む「まちづくり協議会運営事業」を推進しています。</p> <p>これらの取り組みを相互に連携することで、中心市街地の活性化を図ってまいります。</p>
2	鳥取駅周辺地区	<p>鳥取駅周辺地区のエリアを「因幡の新都心」として、高度な都市機能集積・多様な交通の結節点機能の整備・土地の高度利用の促進を図る。具体的には、特にA・Bを緊急且つ重点的に取り組む。</p> <p>A. 回遊性のある歩行者空間の中に、買物・医療・福祉・飲食・宿泊機能を集積する。</p> <p>このため、新たに地区計画を定めてできるだけ敷地の拡大を誘導しながら、建物の容積率を大幅に緩和すると共に、建設費の一部補助を行う。（例えば、敷地が1000㎡以上の場合その敷地の容積率を通常の2倍とする。公開緑地・駐車場・賃貸住宅・デイサービスや保育施設などの施設整備に対する建設費の一部補助。）</p> <p>B. どこからもアクセスしやすい交通導線で駅及び駅周辺地域を連結する。駅に近接した十分な時間貸し駐車場及び公衆用トイレを整備する。</p> <p>このため、鳥取駅2階改札口を新設し、駅から出て北側商店街及び南側鳥取市役所本庁舎敷地を繋ぐ2階レベルの歩行者用通路（米子駅には、南北自由通路が来年8月頃完成する。鳥取駅には、駅と南北両側の拠点を道路を隔てて2階建てレベルで繋ぐ形態。可能な場合は、建物の中を通路として活用する。他都市の駅前に多いペDESTリアンデッキ方式での連結も代替案としてある。）</p> <p>また、JRやバスへのアクセスの良い鳥取駅の周辺に時間貸立体公共駐車場500台程度を整備する。（参考：市営片原駐車場は一般車両136台、市役所本庁舎駐車場は、約200台、日ノ丸パーキングは、280台が駐車できる。）</p>	<p>ご意見として参考とさせていただきます。</p> <p>・鳥取駅周辺地区については、第4期計画において「まちのエントランスゾーン」と位置付け、市の玄関口としての魅力や機能の向上を図ることとしています。また、令和2年度に策定した「鳥取駅周辺再生基本構想（第2期）」においても情報発信機能の充実を基本方針としており、今後中長期的視点での検討が必要であると考えます。</p>
3	鳥取駅周辺地区	<p>次のC・Dについても整備推進が望まれる。</p> <p>C. 地域の観光・イベント・防災情報・郷土の文化芸術情報の提供拠点と賑わいを生み出すイベント空間を整備する。</p> <p>このため、駅北口広場の中に、バスターミナルを兼ねた鳥取情報プラザ(仮称)を新たに建設し、多様な情報・映像・サービスの発信提供拠点とする。風紋広場・パードハット・鉄道記念物公園・サンロードを、必要な改善を施して、イベント空間としてさらに有効活用できるようにし、賑わいを創出する。</p> <p>D. 中高層の住宅の立地を促進すると共に心安らぐ公園や水辺空間を整備し、緑豊かな潤いのある都市的な生活環境を表現する。</p> <p>このため、駅周辺地域の中高層の分譲・賃貸住宅の建設に対し、容積率の割り増しなどで公開緑地の整備を支援する。駅南の鉄道記念物公園を高齢者や子供たちが憩える緑豊かな空間にリニューアルし、前面にある山白川をせせらぎの楽しめる河川水面とし、周辺の遊歩道に花壇などを整備する。</p>	<p>ご意見として参考とさせていただきます。</p> <p>・鳥取駅周辺地区については、第4期計画において「まちのエントランスゾーン」と位置付け、市の玄関口としての魅力や機能の向上を図ることとしています。また、令和2年度に策定した「鳥取駅周辺再生基本構想（第2期）」においても情報発信機能の充実を基本方針としており、今後中長期的視点での検討が必要であると考えます。</p>

No.	区分	いただいた意見・質問等	対応方針
4	鳥取城跡周辺地区	<p>袋川から久松山までの鳥取城周辺地域は、教育・医療環境も整った良好な住宅地としての利用を増進する。A・B・Cの推進を図り、一層の魅力向上を図る。</p> <p>A. 若桜街道・智頭街道の沿道の老朽化した建築防火帯の建物や空家・空店舗を小規模事務所・住宅・ゲストハウス・ワーケーション施設・街区ごとの小規模有料駐車場に建て替えやリニューアルを促進する。このため、建築当初の確認済証の有無に関わらず、容易に時代に合った建物にリニューアルができるようにする。</p> <p>B. 福祉文化会館・市民会館・文化センターの見直しを開始されているが、福祉文化会館は民間に売却して住宅地化を図り、新しい時代にふさわしい芸術・文化・教育施設を旧市役所本庁舎跡地と文化センター施設を活用して整備する。</p> <p>C. 注目度の高まっている地域資産である鳥取城跡の整備の推進と併せ、県内外からの来訪者のための駐車場の獲得が緊急の課題となっている。当面の緊急対策として、県庁北側駐車場を有料の公共駐車場（トイレ併設）として整備する。お堀端は、バスの駐車スペースとして、一般車は身障者用を除き駐車禁止にする。博物館の駐車スペースを有料公共駐車場（トイレ併設）として整備し、立体化などにより収容台数を増やす。</p>	<p>ご意見として参考とさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>防火建築帯の建物や空き家・空き店舗は個人の資産であり、所有者の合意形成が必要不可欠であると考えています。</li> <li>第4期計画において、「文化交流拠点整備調査検討事業」として文化芸術活動・鑑賞の拠点となる施設（市民会館、福祉文化会館、文化ホール）の整備に関する調査検討を実施することとしており、ご提案の取り組みについてもこの事業のなかで検討してまいります。</li> <li>鳥取城跡周辺は、まとまった土地が少なく住宅地でもあるため、駐車場を整備することは難しいものと考えています。一方で、駐車場情報を来街者へ提供するため、城跡周辺及び観光地の駐車場の空き状況や公共交通情報・レンタサイクル情報を一元化するシステムを城跡周辺へ先行して導入することを検討しています。</li> </ul>
5	鳥取民藝観光推進ゾーン	<p>鳥取民藝観光推進ゾーンについて</p> <p>この辺り一帯の観光創出について、まず駐車場がないという不便さ、訪れた観光客（市営駐車場の設置とか）が何処に駐車すればいいのかわからない現状がある（一つには情報発信が出来ていない）</p>	<p>この周辺の民間の時間貸し駐車場は一定程度あるものと認識しています。しかしながら、情報の一元化に向けては今後関係機関等とも連携し検討してみたいと考えています。</p>
6	若年層のまちなか暮らしの促進	<p>外で学んだ若者が鳥取で期待できる魅力ある職場をどう形成するのか。新たな発想で若者や事業者に委ね求めるのもよいが、併せて、行政や事業者「新たな視点」での魅力のアピールをなお一層期待する。</p>	<p>4期計画では、若年層のまちなか暮らしを促進するため、IT系などの事務系企業が鳥取市内への進出を加速させる「オフィス移転・新設支援事業」や民間事業者が空き家や空き店舗などの遊休不動産を活用してまちなかの魅力創出を図る「リノベーションまちづくり推進事業」など13の事業に対して、新たな視点での検討も加えながら官民連携して引き続き取り組んでまいります。</p>
7	回遊・滞在による経済活力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 郊外へ流れて行った人を取り戻そうとするのなら、同じやり方では条件的に不利。新たなもの、あるいは異質なもの等の企てをどう発想していくのか。新たなマーケットの仕組みや日々進化する情報技術、さらには意外なレトロの分野からも、おもしろく知恵を出し合ってはどうか。</li> <li>・ 単に住みやすいだけでは人は大きく集まってこない。空き店舗の利活用については、個々の空き店舗で知恵を絞るもよいが、集合的に考えると経費の問題もあるだろうが、選択幅は変わる。</li> </ul>	<p>第4期計画は、①地域、民間との連携、②人材発掘・育成、③情報発信、④事業所の誘致・雇用創出の4つの方針に基づいて推進することとしており、地域住民、民間団体・事業者、行政等がまちづくりに関する情報や方向性等を共有しながら各種事業に取り組んでまいります。</p>
8	地域資源を活かした交流人口の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ よその都市や地域にも引けを取らない鳥取城跡であり、年々その姿は立派なものとなってくる。しかし、駐車場や土産物店等も近くになく、実に寂しい。</li> <li>・ 駐車場は城跡の近くにあることが絶対条件であり、できないと初めから言わずに考えてみるのもおもしろい。</li> <li>・ 地域資源を活かした交流人口を考えるときには、中心市街地外にある宇倍神社や池田家墓所等との動線なども良い資源だと思う。せめて観光バスくらいはもっと余裕を持ってとめられたらよい。</li> </ul>	<p>鳥取城跡周辺は、城跡ライトアップ等のイベント開催や中ノ御門表門（大手門）の復元整備等で観光客が増加し賑わいが創出されている一方で、城跡周辺の駐車場不足の問題があり、城跡周辺利用者の利便性の向上が課題となっています。そこで、城跡周辺及び観光地の駐車場の空き状況や公共交通情報・レンタサイクル情報を一元化するシステムを城跡周辺へ先行して導入することを検討しています。</p>
9	その他	<p>中心市街地に駐車場があれば人が集まりやすい。そこで、市役所旧本庁舎跡地について以下のような活用をしてはどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 旧市役所本庁舎跡地の活用方法として、まず大駐車場にする。</li> <li>・ 中央にスペースをとって、そこでイベントを開催する。</li> <li>・ 野菜や花の市、フリーマーケット、飲食コーナー、芸能コーナー、その他定期的に開催。</li> <li>・ 市民が集う楽しい「とっとり広場」にしたらどうでしょうか。</li> </ul>	<p>市役所旧本庁舎跡地の具体的な活用については、令和3年12月に、「オープンスペースとして活用し、広域から人が集う憩いの場としてにぎわいを創出する。」とした方針を示したところです。</p> <p>そのため、第4期計画においても「市役所旧本庁舎等跡地活用事業」として、旧本庁舎、第二庁舎跡地の活用について具体的に検討し、中心市街地への居住促進や賑わい創出につながる有効活用を図ることとしており、ご提案の取り組みについてもこの事業のなかで検討してまいります。</p>
10	その他	<p>鳥取温泉の活用について、地元の人達でも何処に温泉があるのか知らないのではないか</p> <p>※鳥取駅周辺に、足湯が出来るとか、大衆温泉で入浴ができる場所などの設置を一考すべきだと思う。</p> <p>※鳥取駅前飲食店ばかりで、夜にならないと賑やかにならない現状があるが、観光客が鳥取駅を下車して駅前広場に立った時に、なにか目玉となる集客が図れるようなものがあればと思う。（例えば、日曜朝市などの定期的な開催）</p> <p>※駅前サンロードの活用 アーケードもあり、車も通行禁止なので。</p>	<p>本市は、全国的にもめずらしい市街地に湧く温泉「鳥取温泉」を有しております。この鳥取温泉は、飲料水用の井戸を掘っている最中に湧き出した約110年の歴史を持つ温泉地と言われ、古くから親しまれています。</p> <p>ご提案のあった足湯については、本市も街なかの賑わい創出のため、イベント時に設置するなどの取り組みを行っているところですが、常設の施設となる場合、泉源の確保や運営主体をどのようにするかなど、温泉権を持たれている関係者との調整を図ることが必要となります。</p>

No.	区分	いただいた意見・質問等	対応方針
11	その他	鳥取駅周辺の、太平、今町二丁目付近の点在する空き家の活用方法について、地域住民を巻き込んだ協議会の設置（過去に市でも議論し、地元を知らない学識経験者などの方が審議をされていると思うが）	中心市街地の空き家利活用については、令和4年度より①空き家の利活用に関する調査、勉強会等を行う団体に対して支援を行う「空き家の担い手育成事業」と②空き家利活用団体支援事業の実施や空き家をサブリース、清掃等で流通させる団体の育成を図るため、空き家利活用に取り組む「地域のまちづくり団体」等に対して支援を行う「空き家利活用団体支援事業」に取り組んでいます。 地域において協議会設置等の協議をいただければ具体的に対応させていただきます。
12	その他	小さいことからやりましょう 1. 袋川の利用 清掃 定期的に（誰がやる）水をきれいにする。草を刈る。屯ができる場所。 2. 動物公園の利用活用 ここには人、子供がいますよ イベント 3. 挨拶運動 はずかしがらずに 4. 中心市街地は自転車利用の促進。自動車禁止。 海外に多い。 5. アーケードの活用 せっかくあるのに 6. わらべ館の活用  大きなこと 1. LRTの施設 駅～久松公園～北イオン～飛行場～鳥取大学～布施運動公園～駅 ex富山市 2. 旧市役所跡地の早期活用の具体化 バスセンター ex広島市 3. 商店街の集約ビル化とそれによる駐車場の確保	第4期計画は、①地域、民間との連携、②人材発掘・育成、③情報発信、④事業所の誘致・雇用創出の4つの方針に基づいて推進することとしており、地域住民、民間団体・事業者、行政等がまちづくりに関する情報や方向性等を共有しながら各種事業に取り組んでまいります。
13	その他	中心市街地の活性化に向けて、何が足りないのか、どうしていったらいいのか、日頃から感じていることを課題点・改善点として、以下にまとめてみます。  ○駐車場不足の問題・・・どこに行くにも、買い物するにも駐車場が少なく、離れていたりなどで、とても利用しづらい。（特に観光客にとって） ○市役所旧本庁舎跡地の利活用・・・どのような活用をするにしても、利用者の駐車場をどうするのが問題。関連して、市民会館の今後の利用の仕方は。 ○「空き家」問題・・・庖丁人町も含め中心市街地にある空き家の活用。活性化の妨げになる。 ○袋川の土手沿いの活性化・・・鳥取駅周辺地区と鳥取城跡周辺地区とを繋ぐ、中間地点として（弥生橋～鹿野橋付近）賑わいを創出する何らかの仕組みができれば。土手沿いをよく散歩するが、桜の花見や紅葉など散策にいいロケーション。まさに鳥取の中心地・核として、人集めの整備ができれば。	城跡周辺及び観光地の駐車場の空き状況や公共交通情報・レンタサイクル情報を一元化するシステムを城跡周辺へ先行して導入することを検討しています。 また、市役所旧本庁舎跡地の利活用については、第4期計画においても「市役所旧本庁舎等跡地活用事業」として、中心市街地への居住促進や賑わい創出につながる有効活用を図ることとしており、ご提案の取り組みについてもこの事業のなかで検討してまいります。 中心市街地に点在する空き家の利活用は、若年層のまちなか暮らしの促進にとっても有効なものと考えており、4期計画においてもその活用を図っていくこととしています。 袋川の土手沿いにはきなんせ広場等の広場を整備し、市民の憩いの場としてイベント等への活用も図っているところです。
14	その他	外来者（外国人も含む）にやさしいワinstoppのインフォメーションセンター設置を要望します。観光案内センターや外国人の為の案内センター等集約しデジタル技術を駆使し、砂丘や鳥取城址、八上姫、白兎海岸など観光情報、交通情報（バス、タクシー）あるいは街中やグルメ情報等を発信する拠点とする。同じく、駅南に設置されたようなデジタルサイネージを増設し、2核2軸の主だったところに配置する。	駅周辺での情報発信機能の充実の必要性は認識しており、駅南側へデジタルサイネージを設置するなど、具体的な整備を行ってきたところです。しかしながら、情報発信拠点の整備については、施設の規模や機能のほか、関係者の合意形成が必要不可欠です。今後、中長期視点で検討してまいります。
15	その他	2核2軸周辺の駐車場の場所、空き具合等の情報を一元管理できるシステムの構築。 そして、バイクの聖地「隼」を訪れるライダーの取り込みで、駅周辺、街中、お城周辺にバイク専用の駐車場の確保と情報発信をしていく。	城跡周辺及び観光地の駐車場の空き状況や公共交通情報・レンタサイクル情報を一元化するシステムを城跡周辺へ先行して導入することを検討しています。